

### ◆植栽景観の現状の課題

- ・なら歴史芸術文化村は、「大和青垣国定公園」や「山の辺の道」沿いにあり、周辺に豊かな自然・静かな環境や歴史文化資源を有し、これらとの調和・活用が必要。
- ・敷地内にある丘陵地の頂上は奈良盆地を臨むビューポイントである。この眺望の良さを活かした整備が必要。
- ・四季折々の彩りにより多くの来訪者が楽しめるような空間を創ることが必要。

課題解決への  
主な対応

- ・なら歴史芸術文化村の施設整備に併せて、周辺の自然環境との調和を図るため、植栽を行う。
- ・丘陵地頂上からの眺望を阻害する支障木を伐採し眺望を確保する。
- ・回廊内を中心に草花の植栽を行い、いつ訪れても四季を楽しめる空間整備を行う。

※2018年度末までに修景緑化設計完了、2019年度以降修景緑化工事予定

【今後の連携方策】 天理市や地元等との協働に向けた取り組みの働きかけや支援方策の検討。

### □緑化ゾーン

- 短期
- ・大和青垣の山並みへの眺望保全、並びに周辺の優れた歴史・自然環境との調和を図るため、植栽を検討する。

現況写真



緑化ゾーン



植栽を検討

緑化ゾーン 植栽イメージ

- 短期
- ・市駐車場からなら歴史芸術文化村へのアプローチをなす通路として地元と調整し、整備・管理を検討。



市駐車場からのアプローチ現況

### □コアゾーン・賑わいゾーン

- 短期
- ・擁壁前面は植栽を施すなど、周辺の自然環境との調和を図る。
  - ・いつ訪れても四季折々の奈良の彩りを楽しめるよう、施設間を連絡する回廊を中心に草花を配置する。



### □屋外体験ゾーン

- 短期
- ・丘陵地である現地形を最大限に活用し、支障木を伐採し視点場としての眺望を確保するとともに、ウッドデッキ等により憩いの場として整備を検討する。
  - ・一般国道25号拡幅後の法面は、植生吹付により周辺の自然環境との調和を図る。

現況写真



支障木伐採

屋外体験ゾーン



屋外体験ゾーンからの眺望

なら歴史芸術文化村平面図(上)、完成イメージ(下)、位置図(右)



© OpenStreetMap contributors